

川柳カレンダー採用作品のご紹介

たくさんのご応募ありがとうございました。

夏空の 祇園ばやしや 場を清め

場内に一瞬の「静けさ」という風が吹き抜けた後、静かに響く居神楽の笛の音が、今から始まる熱狂的な祭りを予感させるとともに、競演会場全体を神域へと浄化してくれる。

福岡県若宮市本城 P.N. 謹一さん

よいとさと 鉦の山笠 月の影

福岡県若宮市本城 P.N. 謹一さん

夏祇園 老いも若きも 好男児

祭り馬鹿。男なら馬鹿と言えるほど一生懸命になる瞬間があってもいいじゃないか。その時、人は皆輝いている。

福岡県若宮市本城 P.N. 謹一さん

夏月夜 小若山笠 見え隠れ

群衆の人垣の向こうに、一周り小さな小若山笠が見え隠れしながら進んで行く。大山ほどの迫力はないが、元気がある。「がんばれ子供たち、がんばれ未来の若者よ」と声援を送りつつ上を見上げれば、晴れ渡った夜空には、小若山笠を見守るように、くっきりと月が浮んでいた。

福岡県若宮市本城 P.N. 謹一さん

古の 伝統男衆 輝かせ

「ヨイトサ」の掛け声で大山笠を動かす男衆は迫力満点。大山笠も男衆も輝いています。

愛知県名古屋市区 P.N. 薬寺村池丸さん

夏の夜に 提灯山が 駆け抜ける

競演会での風景です。提灯山は遠くから見るとすごくキレイ。近くで見ると迫力があります。戸畑祇園は、世界一の祭り。毎年、夏が楽しみです。ハッピを洗濯したり、アイロンをかけたり、その作業だけでも楽しいです。

北九州市戸畑区 P.N. ユウさん

夏の夜の 法被姿に 恋心

普段の姿とは違う姿に恋心が芽生える感じ。

大分県別府市城島 P.N. みよさん

子に魅せる 櫓夫の 晴れ舞台

北九州在住五十年余。初めて実物大山笠を身近で見ました。勇壮華麗・伝統、まさに男の晴れ舞台です。

北九州市小倉南区 P.N. すえひろさん

中学生 法被に着替え 小若かく

戸畑で生まれて祖父や父に連れられ子供のころから山笠が染み付いていました。中学では小中を担ぎその後、大山笠を担いでいました。転勤で関西へいますが最近10年間はまた大山笠を担ぎに戻ってきて、いま59歳の山のぼせです。

神戸市西区 P.N. 寿彦さん

「ヤマ」が呼ぶ 祭に帰り 友と呑む

広島県福山市赤坂町 P.N. 落犀庵さん

ちようちん山 男の熱気 空こがす

北九州市小倉北区 P.N. 正義さん

男らの たましい熱い 夏がゆく

戸畑祇園大山笠。これにかける男達の魂は夏以上に熱いものがあります。

千葉県長生郡白子町 P.N. 銀次郎さん